

北海道の砂 (1)

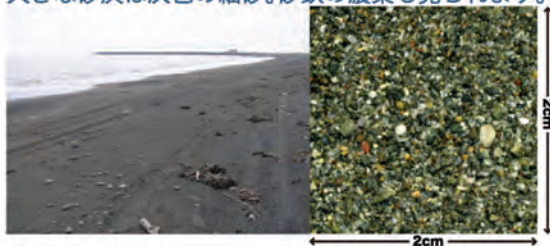
日高・十勝地区の砂

北海道の中央から襟裳岬に伸びる日高山脈から流下する黒い砂がこの地区の浜をつくっています。十勝地区の東北部は白亜紀から古第三紀の地層からなる丘陵の発達した海岸には、褐色の砂が見られます。



① 勇払海岸： ユウフツ

大きな砂浜は灰色の細砂。砂鉄の濃集も見られます。



② 日高門別海岸：

灰色の粒に白色や赤色の粒が混じっています。



③ 三石川河口：

日高山脈からの緑色の砂礫が海へ流れ込んでいます。



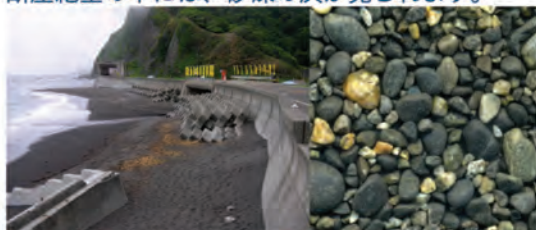
④ 幌満川河口： ホロマン

かんらん岩の山から流下した緑色の砂。



⑤ 目黒海岸：

断崖絶壁の下には、砂礫の浜が見られます。



⑥ 広尾町曉海岸： アカツキ

扇状地の末端が波で浸食される荒々しい海岸です。



⑦ 浦幌厚内海岸： ウラホロアツナイ

穏やかな丘陵地の浜。褐色のチャートが目立ちます。



⑧ 釧路市馬主来： ハンシクル

砂礫には、褐色のチャートがたくさん含まれています。

